資料2

令和８年度当初予算案の概要

令和8年2月2日

予算の特徴

元気なまちづくり・ウェルビーイング実感予算

◎令和８年度当初予算における取組

●　「誰一人取り残さない社会」の実現

孤独・孤立対策　　こどもまんなか施策　　女性の健康・活躍施策
すべての人々がウェルビーイングを実感　　など

●　「時代の変化に対応した行政」への変革

強いインフラ整備　　グローバル施策の推進　　ＡＩ・ＤＸの浸透
行政改革（行かない窓口）　　など

●　「安定した財政基盤」の確立

スマートインターチェンジ（大山田ＰＡ）の整備　　企業誘致の推進
観光魅力創出　　など

○　重点プロジェクト・３つのミッション

駅周辺整備　　公共交通　　屋内プール　　など

○　人口減少対策・出生数増への取組

人口減少対策パッケージ　　保育現場充実パッケージ　　など

○　市民ニーズに寄り添った施策

物価高騰対策　　気候変動への対応（熱中症対策）　　など

○　未来への投資

公共施設マネジメント　　公民連携の推進　　ＧＸの推進　　など

予算の規模

◆ 令和８年度　一般会計当初予算額　６１６．６億円
（ 令和７年度対比　▲４５．７億円、▲６．９％ ）

当初予算規模の推移　（単位：千円）

年度	R4	R5	R6	R7	R8
当初予算額	52,674,172	54,367,340	63,949,752	66,229,771	61,659,557
増減率	1.2%	3.2%	17.6%	3.6%	▲6.9%

【歳入】

市 税 の状況

◆ 市税収入は　237.1億円　　前年度対比で　5.1億円、2.2%の【増】

・市民税	**110.1億円**	**(R7**	**108.1億円、**	**1.9%)**
個人	98.3億円	(R7	96.0億円、	2.4%)
法人	11.8億円	(R7	12.1億円、	▲2.3%)
・固定資産税	**102.3億円**	**(R7**	**99.6億円、**	**2.7%)**
土地（現年）	31.4億円	(R7	31.4億円、	0.3%)
家屋（現年）	45.6億円	(R7	44.3億円、	2.9%)
償却（現年）	24.5億円	(R7	22.8億円、	7.2%)

地方消費税交付金 の状況

◆ 地方消費税交付金は　40.2億円　　前年度対比で　4.6億円、12.8%の【増】

地方交付税 の状況

◆ 地方交付税は　57.5億円　　前年度対比で　1.0億円、1.8%の【増】

・地方交付税	57.5億円	(R7	56.5億円、	1.8%)
普通交付税	49.0億円	(R7	48.0億円、	2.1%)
特別交付税	8.5億円	(R7	8.5億円、	0.0%)

※端数処理を四捨五入により、増減率の計算は千円単位で、行っていることから、総数と内訳の計等が一致しない場合があります。

繰入金 の状況

◆ 繰入金は 50.9億円　　前年度対比で ▲8.2億円、▲13.9%

・財政調整基金繰入金　29.6億円（R7　32.9億円）

令和６年度末 財政調整基金残高 決算　57.8億円

令和７年度末 財政調整基金残高見込み　46.2億円

財政調整基金残高（年度末）の推移

	R4 決算	R5 決算	R6 決算	R7 見込み
財政調整基金残高（年度末）	70.4億円	65.6億円	57.8億円	46.2億円

市 債 の状況

◆ 市債は 28.8億円　　前年度対比で ▲32.0億円、▲52.6%

・公共施設等適正管理推進事業債 9.5億円（R7　40.9億円、▲76.9%）

・都市計画事業債　8.9億円（R7　4.2億円、 112.1%）

・水道事業会計出資債　2.5億円（R7　－　、　皆増）

起債額の推移

	R4当初	R5当初	R6当初	R7当初	R8当初
一般会計	36.9億円	40.2億円	82.9億円	60.8億円	28.8億円
うち臨財債	9.7億円	5.4億円	2.5億円	－	－

市債残高（年度末）の推移

	R4 決算	R5 決算	R6 決算	R7 見込み	R8 当初
一般会計	529.6億円	508.2億円	516.8億円	526.5億円	499.9億円
うち臨財債	245.2億円	228.6億円	212.2億円	193.4億円	174.3億円

【歳出】

義務的経費 の状況

◆ 義務的経費は 316.0億円 前年度対比で 10.5億円、3.4%の【増】
- 人件費 115.5億円 (R7 109.6億円、 5.4%)
- 扶助費 142.1億円 (R7 138.9億円、 2.3%)
- 公債費 58.4億円 (R7 57.0億円、 2.4%)

公債費の推移

当初予算額	R4	R5	R6	R7	R8
一般会計	59.9億円	57.0億円	58.8億円	57.0億円	58.4億円

投資的経費 の状況

◆ 投資的経費は 53.2億円 前年度対比で ▲65.9億円、▲55.3%

投資的経費の推移 (下段は対前年度比)

当初予算	R4	R5	R6	R7	R8
一般会計	47.7億円	56.6億円	123.0億円	119.1億円	53.2億円
増減率	▲7.8%	18.7%	117.3%	▲3.2%	▲55.3%

その他の経費 の状況

◆ その他の経費は 247.4億円 前年度対比で 9.7億円、4.1%の【増】
- 物件費 106.1億円 (R7 104.6億円、 1.4%)
- 維持補修費 4.4億円 (R7 4.6億円、 ▲4.8%)
- 補助費等 76.5億円 (R7 71.3億円、 7.2%)
- 積立金 10.0億円 (R7 9.0億円、 11.2%)
- 貸付金 0.6億円 (R7 0.6億円、 ▲2.3%)
- 繰出金 49.6億円 (R7 47.3億円、 5.0%)
- 予備費 0.3億円 (R7 0.3億円、 0.0%)

令和８年度当初予算の主な事業

◆ **多文化共生推進事業費　　【継続】　1,473 万円**　　***《総務費》***

外国人住民が増加している中、住民ニーズを的確に把握し、関係機関が連携して外国人の立場やニーズにあった生活環境整備を行うとともに、多文化共生の実現に向けた様々な取組みを実施することで、外国人も含めた誰にとっても安心して住みやすい、誰一人取り残さないまちづくりを目指す。

◆ **公共施設等ＬＥＤ化事業費　　【新規】　1,477 万 4 千円**　　***《総務費》***

ＬＥＤ化が必要な公共施設および街路灯等について、価格面を考慮し施設等設置箇所に適した器具への交換および設置後 10 年間の保守管理を含んだ賃貸借契約を行う。

◆ **パブリックリレーション事業費　　【継続】　1,109 万 2 千円**　　***《総務費》***

これまで行ってきた「桑名ブランド」のＰＲによって培ったノウハウを活かし、国内のみならず国外に住む外国人に対して、各種イベントの開催や WEB プレスリリース、SNS 発信、現地取材ツアー等、本市の魅力情報を発信する PR 活動を実施する。

◆ **ふるさと応援寄附推進事業費　　【継続】　4 億 4,368 万 2 千円**　　***《総務費》***

本市の特産品やまちの魅力を積極的にＰＲし、本市に寄附したいと思っていただけるような魅力的な返礼品を贈ることで、関係人口の構築、地域の活性化を図る。中間事業者にふるさと納税支援業務を委託する。

◆ **グローバル人材育成事業費　　【継続】　1,100 万円**　　***《総務費》***

本市在住または本市出身の学生に対し、国際的素養を培い異文化理解力や語学力を身に着ける重要な機会となる海外留学を、市独自の奨学金支援制度により支援し、本市から世界を視野にグローバルに活躍する人材を育成し、市の国際化を推進する。

◆ **地域コミュニティ推進事業費　　【継続】　4,681 万 6 千円**　　***《総務費》***

「市民の個性が活かせる地域コミュニティ」を確立するため、まちづくりセミナーやまちづくり協議会同士の交流機会の提供、また、まちづくり協議会へまちづくり交付金を交付することで地域の特性に応じた活動が展開できるよう支援を行い、地域運営組織の形成・発展に向けた取組を促進する。

◆ **国際化戦略推進事業費　　【継続】　455 万 1 千円**　　***《総務費》***

本市と海外の未来を担う学生がお互いに意見交換を行うオンライン国際交流会の開催や海外都市における現地プロモーション活動等を実施し、生活や教育、就労、観光等のあらゆる面において、本市と海外との連携が図れるよう積極的な関係人口の構築に努める。

◆ **次世代モビリティサービス推進事業費　　【継続】　2,000 万円**　　***《総務費》***

自動運転レベル４の許認可取得に必要な各種手続きを開始し、これまで実証実験を重ねてきた走行ルートにおいて自動運転移動サービスの開始を目指す。

◆ **ＡＩ活用型オンデマンドバス導入推進事業費　　【継続】　2,000 万円**　　***《総務費》***

ＡＩを活用した配車やルート検索等の機能を備えたオンデマンドバスの取組みを実施し、地域全体で支える持続可能な公共交通の仕組みの構築を目指す。

◆ **移住・定住促進事業費　　【継続】　8,110 万円**　　***《総務費》***

移住・定住促進事業補助金の一部改正を行い、移住者に加えて、市内在住者が住宅を取得する場合にも補助金を交付することで、多くの方が桑名に住み続けることを後押しする。

◆ **子どもの夢・未来創造事業費　　【継続】　592 万 5 千円**　　***《総務費》***

子どもの体験機会の拡充を目的に、様々な授業が実施できる講師を小中学校等に派遣する。

◆ **女性のウェルビーイング推進事業費　　【継続】　151 万円**　　***《総務費》***

女性のこころとカラダに関する情報発信や女性の健康課題解決のための講座を実施することで、市民の意識醸成を図るとともに、女性のウェルビーイングを応援する企業と一緒になって、女性のウェルビーイングを推進する取り組みを行う。

◆ **企業版ふるさと応援寄附推進事業費　　【新規】　250 万円**　　***《総務費》***

寄附企業と自治体をつなぐ中間事業者のネットワークを活用し、潜在的寄附企業との接点を増やし、企業版ふるさと応援寄附による更なる歳入増加を目指す。

◆ **ＡＩ活用推進事業費　　【新規】　1,122 万 8 千円**　　***《総務費》***

ＡＩを基盤としたデジタル技術を活用し､市民サービスの向上及び業務効率化を図る。

◆ **市議会議員選挙費　　【新規】　9,524 万 6 千円**　　***《総務費》***

公職選挙法に基づき、桑名市議会議員選挙が公平・公正に行われるよう選挙の適正な管理執行に努めるとともに、選挙の重要性を啓発し、投票率の向上を図る。

◆ **ひきこもり地域支援センター事業費【新規】　1,450 万 6 千円**　　***《民生費》***

「ひきこもり地域支援センター事業」の運営を公私連携保育法人に委託し、孤独・孤立の状態にある人、ひきこもり状態にある本人や家族等を支援し、本人の社会参加を促進する。

◆ **施設調査費　　【新規】　64 万 7 千円**　　***《民生費》***

旧清風園、旧療育センター及び山崎乳児保育所の土地及び建物について、資産価値を把握するため、土地の不動産鑑定評価額及び建物の解体費用を算出する。

◆ **障害者福祉計画策定事業費　　【新規】　498 万 3 千円**　　***《民生費》***

障害者等を対象としたアンケート調査や障害者団体ヒアリングを行い、アンケート調査の分析結果及び当事者の意見を反映した計画を策定する。

◆ **食材費等高騰緊急対策事業費（児童福祉総務費）　【継続】　2,264 万 4 千円** ***《民生費》***

物価高騰が続く中、これまでどおりの栄養バランスや量を保った給食を実施するため、保護者負担となる給食費の軽減を図る。

◆ **選べる桑名子育てリフレッシュ事業費　　【継続】　5,781 万 5 千円**　　***《民生費》***

市と民間事業者が協力し、子育て世帯が、選ぶことができるリフレッシュ事業を０歳から２歳の子育て家庭に提供する。「家事援助」や「子どもと楽しむ」プランを拡充し、子育て支援の充実を図る。

◆ **きめ細やかな保育体制整備事業費　　【新規】　1 億 7,885 万 6 千円**　　***《民生費》***

障害児保育の支援拡充をはじめ、低年齢児保育やアレルギー除去等に対応する私立保育施設に補助を行い、きめ細やかな保育体制を構築し、誰一人取り残さない保育環境を提供する。

◆ **こどもの権利擁護推進事業費　　【継続】　118 万 8 千円**　　***《民生費》***

権利の主体であるこどもに研修・啓発を行う。また公の場で啓発を行うことで、こどもを取り巻く周りの人もこどもの権利の重要性を認識し、こどもの権利が保障されるまちづくりをめざす。

◆ **乳児等通園支援事業費　　【新規】　1,222 万千円**　　***《民生費》***

生後６か月から満３歳未満で保育所等に通っていないこどもを育てている家庭が、時間単位で柔軟に保育所等を利用できる「こども誰でも通園制度」を実施することで、全てのこどもの育ちを応援し、全ての子育て家庭に対しての支援強化を図る。

◆ **こどもの睡眠改善事業費　　【新規】100 万円**　　***《民生費》***

こども、保護者への睡眠に関する啓発、睡眠を通じた生活習慣の改善を図ることで、学力向上、心身の健康増進、ウェルビーイングの向上、長期欠席者の減少などを目指す。また、保育所や子育て支援センターで保護者を対象とした市民向け講座や啓発を実施し、就学前からも睡眠の重要さを伝える。

◆ **食材費等高騰緊急対策事業費（保育所費）　【継続】　345 万 6 千円**　***《民生費》***

物価高騰が続く中、これまでどおりの栄養バランスや量を保った給食を実施するため、保護者負担となる給食費の軽減を図る。

◆ **病院事業運営費負担金　　【継続】　11 億 78 万 8 千円**　***《衛生費》***

地方独立行政法人である桑名市総合医療センターが実施する高度医療、救急医療、周産期医療等の病院事業運営経費の一部について、設立団体である市が負担する。

◆ **熱中症対策事業費　　【新規】　32 万 5 千円**　***《衛生費》***

市民等がひと涼みできるように暑熱避難施設「桑名クールシェアスポット」に指定している公共施設の一部に、給水サーバーを設置する。

◆ **ＲＳウイルス母子免疫ワクチン接種事業費【新規】　2,566 万 8 千円**　***《衛生費》***

妊婦への能動免疫により出生した児のＲＳウイルス感染の予防に寄与するワクチンを、妊娠28週から37週に至るまでの者に１回接種することにより、新生児期から乳児にかけて、ＲＳウイルス感染症の重症化を予防する。

◆ **プレコンセプションケア推進事業費　　【継続】　119 万 6 千円**　***《衛生費》***

若い女性やカップルが将来のライフプランを考えて、日々の生活や健康と向き合い、将来に向けて、より質の高い生活の実現を図るため、プレコンセプションケアに関する啓発事業を実施する。

◆ **１か月児健康診査事業費　　【新規】　678 万 5 千円**　***《衛生費》***

生後１か月で健診を受け、病気や異常を早期に発見し適切な指導を行うことで、その進行を未然に防止する。また、養育環境を評価し、保護者へ育児に関する助言を行うことで、乳児の健康保持及び増進を図る。

◆ **有害鳥獣等対策事業費　　【継続】　2,059 万 6 千円**　***《農林水産業費》***

野生獣等による農作物の被害防止活動として、桑名支部猟友会の協力を得て、捕獲・駆除を行いながら、地域の方による追払いや駆除への参加、電気柵や侵入防止柵の設置を勧める等、地域住民による自己防衛を促す。

◆ **ため池等整備事業費　　【継続】　1,200 万円**　***《農林水産業費》***

農業用ため池等の決壊・漏水などによる、農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等の洪水被害を未然に防止するため改修機能回復を行う。

◆ **企業等誘致奨励金　　【継続】　1 億 9,681 万 7 千円**　***《商工費》***

多度南部エリアの産業誘導ゾーン等に立地（増設）した民間企業に対して、立地奨励金及び定住促進奨励金を交付する。

◆ **世界を目指す若者応援事業費　　【新規】 567 万 5 千円** ***《商工費》***

市内のスーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）認定校に在学する高校生を対象に、国立陽明交通大学（台湾）が主催する半導体に関するサマープログラムに参加する生徒 20 名を募集・選考し、サマープログラムの受入調整や渡航手続きのコーディネート等を行うとともに、参加費用の一部を支援し、経済的負担の軽減を図ることで、対象生徒の参加機会の充実・確保を行う。

◆ **企業誘致トップセールス事業費　　【新規】 560 万 4 千円** ***《商工費》***

市長によるトップセールスを効果的に実施するため、国内外の企業や関係機関等を訪問するとともに、企業ニーズの把握及び本市の魅力発信に資する各種プロモーション活動を展開する。

◆ **桑名水郷花火大会開催事業費　　【継続】 1,400 万円** ***《商工費》***

夏の風物詩として定着し、歴史ある花火大会を安全・安心に、そして感動できる大会として開催する。

◆ **海外プロモーション・ツアー推進事業費　　【新規】 949 万 5 千円** ***《商工費》***

国際交流及びインバウンドの推進を図るため、海外市場を中心とした効果的なプロモーションを実施し、市の認知度向上・誘客促進に繋げる。

◆ **建築行政ＤＸ推進事業費　　【新規】 2,278 万 5 千円** ***《土木費》***

建築行政手続におけるオンライン化・デジタル化を推進し、市役所窓口にて開庁時間中のみ可能であったサービスを、ＷＥＢ公開することで、来庁者の負担軽減及び利便性向上を図り、将来的に利用者自らが様々な建築情報を積極的に活用できるオンライン窓口サービスを構築する。

◆ **スマートインターチェンジ等整備事業費　　【継続】 4 億 6,220 万円** ***《土木費》***

多度南部エリアの産業誘導ゾーン及びスマートＩＣ計画地周辺における企業誘致の促進、スマートＩＣ計画地周辺道路の渋滞緩和、地域住民の利便性向上、災害時の物資輸送路並びに避難経路の確保のため、スマートＩＣ及び一次アクセス道路である都市計画道路桑名北部東員線・都市計画道路大山田播磨線を整備する。

◆ **都市マスタープラン策定事業費　　【継続】 2,406 万円** ***《土木費》***

企業誘致のさらなる促進を図るにあたり、都市計画法第 18 条の２の規定に基づく市の都市計画に関する基本的な方針（桑名市都市計画マスタープラン）を全面改定するとともに、関連計画である緑の基本計画の全面改定、立地適正化計画の一部改定（防災指針の策定）を行う。

◆ **土地区画整理事業補助金　　【継続】　1億5,000万円**　　***《土木費》***

都市計画道路桑名北部東員線を施行地区に含む組合施行の土地区画整理事業に対して補助金を交付し、都市計画道路桑名北部東員線の整備促進並びに工業系企業誘致の促進を図る。

◆ **桑名駅周辺施設整備事業費　　【継続】　2,625万1千円**　　***《土木費》***

桑名駅周辺地区整備構想及び桑名駅自由通路整備に合わせ、桑名駅周辺を再編することにより、都市機能の集積を図り、利便性・安全性の向上及び賑わいと活力ある拠点づくりを進める。

◆ **土地区画整備事業費　　【継続】　20億9,109万3千円**　　***《土木費》***

土地区画整理事業により道路・駅前広場・公園・下水道等の公共施設を整備し、住環境の改善、駅西口への交通処理の円滑化を図る。

◆ **市営住宅ＰＰＰ／ＰＦＩ導入検討事業費【新規】　100万円**　　***《土木費》***

市営住宅の集約化等に関する基本構想を具体化するため基本計画を策定し、ＰＦＩ導入可能性調査の実施に向けて、基本構想のコーディネートを行う。

◆ **車両購入費　　【継続】　9,603万8千円**　　***《消防費》***

車両整備計画に基づき、桑名市消防本部配備車両１台、大山田分署配備車両１台の計２台を購入する。

◆ **学校施設等解体撤去事業費　　【新規】　3,382万4千円**　　***《教育費》***

旧多度西小学校について、今後の活用先が未定であり、老朽化が著しいため解体を行う。解体後、更地にした上で、引き続き活用先の検討を行う。また、現在活用の無い学校については、進入防止及び安全対策のため、立入禁止のフェンスを設置する。

◆ **教育ＩＣＴ環境整備事業費　　【継続】　3億8,124万4千円**　　***《教育費》***

現行の学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力に定義された情報活用能力を、桑名の子ども達が９年間の義務教育を通して身に付けられるようにするため、市立学校におけるＩＣＴ環境の整備を継続的に行う。

◆ **多度地区小中一貫校建設事業費　　【継続】　4億9,797万4千円**　　***《教育費》***

本市初の施設一体型小中一貫校である義務教育学校「多度学園」の整備については、設計施工一括発注方式による事業者ノウハウを活かした整備により、多度地区における子ども達の健全な発育を目指す。

◆ **多度地区小中一貫校推進事業費　　【新規】　2,478万8千円**　　***《教育費》***

本市初の施設一体型小中一貫校である多度学園において、小中一貫教育を推進し、義務教育９年間を見通した系統性、連続性のある効果的、魅力的な環境づくりを目指す。

◆ **多度学園スクールバス運行事業費　　【新規】 1,621 万 8 千円** ***《教育費》***

義務教育学校多度学園の開校に伴い、子どもたちの通学エリアが広域となるためスクールバスの運行を行う。

◆ **石取祭ユネスコ登録１０周年記念事業費　　【新規】 312 万 2 千円** ***《教育費》***

石取祭がユネスコ無形文化遺産の代表一覧に記載されて 10 周年となることを記念し、展覧会をはじめとする記念事業を実施し、桑名の誇る石取祭の魅力を広くＰＲすることで、市の魅力向上とシビックプライドの醸成につとめる。

◆ **刀剣修理プロジェクト事業費　　【新規】 250 万円** ***《教育費》***

クラウドファンディングを活用し、桑名に関わる貴重な文化財の修理事業費を募る。本事業の実施を通じて桑名の文化財の魅力を広くＰＲするとともに、多様な資金調達に取り組む。

◆ **スポーツ親善大使関係資料受贈記念事業費　　【新規】 135 万円** ***《教育費》***

桑名市出身で、本市のスポーツ親善大使である、昭和を代表するマラソンランナー「瀬古利彦」氏からのトロフィー等の受贈を記念して、受贈資料のお披露目の展覧会等を実施する。あわせて市の魅力向上とスポーツ振興へのＰＲ、シビックプライドの醸成を推進する。

◆ **ジョサイア・コンドル来日１５０周年記念事業費　【新規】136 万円** ***《教育費》***

平成９年に六華苑（旧諸戸清六邸）は、国の重要文化財に指定されている。そして、洋館を設計したジョサイア・コンドルが、イギリスから日本にやってきたのが明治 10 年（1877 年）で、150 周年を迎える。ジョサイア・コンドルを顕彰し、その貴重な作品である六華苑を全国に発信することで桑名市のブランド力を高める。

◆ **伊勢大神楽ユネスコ機運醸成事業費　　【新規】100 万円** ***《教育費》***

文化庁の発表により、伊勢大神楽を含む国指定重要無形民俗文化財である 40 件が「神楽」としてユネスコ無形文化遺産提案案件として了承された。早ければ２年後の令和 10 年に審査され、代表一覧に記載される見通しとなっている。それまでの機運醸成を図るため、市内における認知度向上を目的にイベントを行う。

◆ **食材費等高騰緊急対策事業費（学校給食事業費）　【継続】 6,528 万 8 千円** ***《教育費》***

◆ **食材費等高騰緊急対策事業費（多度学校給食センター費）【継続】652 万 9 千円** ***《教育費》***

◆ **食材費等高騰緊急対策事業費（長島学校給食センター費）【継続】 555 万円** ***《教育費》***

物価高騰が続く中、これまでどおりの栄養バランスや量を保った給食を実施するため、保護者負担となる学校給食費の軽減を図る。

◆ **部活動地域展開サポート事業費　　【継続】3,769 万 6 千円**　　***《教育費》***

生徒にとって望ましい形で持続可能な部活動の在り方と学校の働き方改革の実現に向けての検討を行う。また、休日の部活動の段階的な地域展開と、それに向けた合理的で効率的な部活動の在り方について検証を行う。

◆ **総合運動公園屋内プール施設管理運営費　　【新規】　5,975 万 3 千円**　　***《教育費》***

桑名市総合運動公園屋内に竣工するプールの管理運営を指定管理により実施する。

◆ **総合運動公園屋内プール施設開業準備費　　【新規】　1 億 5,072 万 3 千円** ***《教育費》***

令和８年度開業予定である、総合運動公園屋内プール施設の開業準備及び記念式典を行う。

◆ **総合運動公園整備事業費　　【継続】　1 億 6,904 万 4 千円**　　***《教育費》***

桑名市総合運動公園内にリース方式でプールを整備する。

◆ **水道事業会計繰出金（水道管路耐震化事業）【新規】　2 億 5,304 万 9 千円**　　***《諸支出金》***

水道事業の防災対策を強化するため、地方公営企業繰出金の繰出し基準に基づき、水道管路耐震化事業に係る費用の一部を一般会計から繰出金として支出する。